

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 25 年度第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 25 年 6 月 22 日 (月)  
午後 2 時 00 分から午後 6 時 30 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 8 階 843 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 16 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 1 名  
オブザーバー 8 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 ウォリス サイモン  
理事 小口 高  
理事 奥村 晃史  
理事 北 和之  
理事 古村 孝志  
理事 杉田 倫明  
理事 瀧上 豊  
理事 田近 英一  
理事 畠山 正恒  
理事 濱野 洋三  
理事 松本 淳  
理事 渡邊 誠一郎  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 大村善治  
大気水圏科学セクションプレジデント 中島映至  
地球生命科学セクションプレジデント 北里洋  
固体地球科学セクションプレジデント 大谷栄治  
地球生命科学セクション幹事 生形貴男  
大会運営委員会プログラム局局长 河宮三知生  
大会運営委員会プログラム局副局長 目代邦康  
坂野井和代 (Skype 出席)

午後 2 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

## 7. 報告事項

### (1) 2013 年大会報告

津田会長より 2013 年連合大会について報告があった。セッション数は 180 であり、うち国際セッションは 24%であった。投稿数は約 4,000。参加者数は 6800 名超であった。(資料 P.1-3、5-10)

谷上事務局長より、連合大会の会計について報告があった。収入に関しては、予算額に比べ 280~300 万円の増加となった。これは主に出席団体の増加によるものである。支出に関してはほぼ予算通りである。(資料 P.4)

浜野理事より、JpGU2013 年来場者アンケートの集計結果 (別冊資料) について報告があった。今後の検討課題として、ポスター三分概要発表に関して賛否両論見られること、口頭講演会場の広さに関して不満が挙げられていることが説明された。またアンケートの集計結果を踏まえ、意見が交換された。その結果、会場内の撮影禁止に関して周知を徹底すること、学生賞の審査基準に関して統一した基準を検討すること、予稿集やアーカイブ検索について、大会ホームページをより充実させることが確認された。

### (2) 委員会報告

総務委員会報告 (古村理事) 資料 P.12

古村理事より、寄付金受け入れ体制の検討に関する報告があった。『減額控除対象の公益法人』に認定されることで寄付金を促進する効果が期待されるが、現在のところ当連合はその要件を満たしていない。要件のうち一は 3,000 円以上の寄付金を支出した者が、五年継続して年平均 100 人以上いることであり、寄付金を募るためまずは寄付金の受け入れ規定を整える必要がある。

男女共同参画委員会報告 (坂野井和代担当) 資料 P.13-15

坂野井担当より、男女共同参画委員会報告があった。大会中にイクメンシンポジウムを開催し、のべ50名以上が参加した。また2013年度の活動方針を策定し、5月21日の委員会にて承認された。また平成25年度女子中高生夏の学校にポスター参加することを決定した。

## 8. 審議事項

### 第1号議案 会員（正会員）入会承認の件（古村理事）資料 P.16-26

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者を承認した。なお、資料中正会員366番はテスト入力によるもののため、次月に削除処理を行う。

### 第2号議案 2014年連合大会開催概要及び方針の確認の件

（目代大会運営委員会プログラム局副局长）資料 P.27-47

目代大会運営委員会プログラム局副局长より、2014年連合大会の概要、スケジュール、及び会場が説明され、これを承認した。プログラム委員会副委員長を地球生命圏から選出することを承認した。三分概要説明を次年も継続して開催することを承認した。コンビーナガイドラインおよび投稿規程を承認した。

高校生セッションに関して、大会の開催時期が早まること、例年と異なり連休ではない祝日に高校生セッションを開催することを鑑み、対策を検討することを決定した。（資料 P.11）また、合同大会より数えて25回目となること、連合大会として10回目となることを記念し、企画を検討することを決定した。

### 第3号議案 連合ジャーナル関連の件（川幡理事）資料 P.48-60

ジャーナル企画経営委員会、ジャーナル編集委員会を設置することを承認した。ジャーナル企画経営委員として連合より田近理事を選出した。また現在の連合事務局とは別に、事務員と編集専門員を雇用しジャーナル出版部を設置することを承認した。科学研究費補助金（研究成果公開促進費）からのジャーナル出版部の人件費が支出できるかどうか、日本学術振興会に問い合わせることとなった（翌日、問い合わせ、支出できることをメールにて確認した）。

招待された論文やレビュー論文、大会中に優秀と認められた発表に基づく論文等、特別なものを除き、一般の論文の投稿料は、会員による論文では80%を連合が負担することを承認した。なお、非会員については、連合は負担しないこととなった。

本年は質の高い論文を集めるため、論文執筆の依頼を出すことをセクションプレジデントに要請することを承認した。具体的には、本年度開催予定の国際シンポジウムなどで、日本地球惑星科学連合の趣旨にあうもの、そして、招聘の方には原稿を書いてもらうことなどを条件に、予算を支出することで合意された。来年の大会では、これを発展させ、特別

国際セッションを設け、そこでの発表者に論文の執筆を依頼することを決定した。

第4号議案 連合大会の投稿システムの更新について (小口理事) 別冊資料  
小口理事より、投稿システムに関してのアンケート結果の報告があった。またそれに基づき、システム改善や、制作運用会社の変更を含め検討していることが報告された。システム改善に際しては、現状四コマで固定になっているコマ数を可変にすること、ギリシャ文字、上付き、数式等が入力できるようにすることが要望として挙げられた。これらの可否も含めて引き続きシステム改善に関して検討してゆくとした。

第5号議案 選挙管理委員会の設置の件 (古村理事) 資料 P.61  
古村理事より、選挙管理委員会を設置することが提案され、これを承認した。

第6号議案 『平成25年度女子中高生夏の学校』協賛の件 (古村理事) 別冊資料  
『平成25年度女子中高生夏の学校』を協賛することを満場一致で承認した。

第7号議案 AOGS2014年札幌大会対応(プログラム関連)の件 (津田会長) P.62-65  
AOGS2014年札幌大会への対応について、津田会長から報告があった。連合から、プログラム委員会を選出済みであり、AOGSの理事会で審議中である。  
また連合大会の国際セッションの充実化を含め、今後も当連合がAOGSと共存し共に発展できるように、協調していくことを確認した。

第8号議案 日本学術会議「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」改定の件  
(津田会長) 資料 P.66-68  
「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」を改訂することを承認した。セッションごとに、現在のものを元に改訂をすることとした。

第9号議案 日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査」(平成25年3月28日)提言に対する対応の件 (津田会長、松本理事) 資料 P.69-73  
日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査」の提言に対し、東日本大震災以前より災害対策委員会を中心に行ってきた実績を踏まえ、より強固な体制を整える必要があることを確認した。

第10号議案 大型プロジェクトに対する提言の件 (津田会長)  
日本版NIHに対して当連合として声明を発表することを承認した。詳細に関しては再度検討することとなった。(資料 P.74-80)  
宇宙戦略に関して、中島セクションプレジデントより説明があった。それに基づき、今後

の地球観測衛星の開発、運用をより発展させてゆく必要があることを確認した。

第 11 号議案 連合での表彰制度の統一指針、フェローについて (中村理事) 資料 P.83  
フェロー制度の設立へ向け、フェロー制度準備委員会の設置を承認した。委員は中村理事、  
成瀬理事、ウォリス理事、古村理事、に加え、セクション毎にそれぞれ一名を選出するこ  
ととした。

第 12 号議案 ユニオンサイエンスボードについて (津田会長) 資料 P.84  
津田会長よりユニオンサイエンスボードの現状についての問題提起があった。連合が発展  
してきたことにより、設置当初とは状況が変化し、ユニオンサイエンスボードの連合にお  
ける役割が低下してきた。そのため、今後ユニオンサイエンスボードを解消することも視  
野に入れ検討してゆくことを決定した。

第 13 号議案 今後の国際戦略の件 (津田会長)  
木村理事より、他の国際的学会連合による新しい学術雑誌の出版の予定等、国際戦略の動  
きがあることが報告された。これに対して、セクション間が協力して対応してゆく必要が  
あることを確認した。  
松本理事より、アジアに向けた国際戦略の必要性が説明され、これを検討してゆくことを  
確認した。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 6 時 15 分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・  
押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 25 年 6 月 22 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 2 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	杉田	倫明	印
出席理事	瀧上	豊	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	畠山	正恒	印
出席理事	濱野	洋三	印
出席理事	松本	淳	印
出席理事	渡邊	誠一郎	印